

## 社会医学系専門医協会 ニュースレター2026年春号 コンテンツ

- 社会医学系専門医の社会的価値のさらなる拡充へ（理事長より）
- 「第36回日本疫学会学術総会」開催のご報告
- 「第30回日本医療情報学会春季学術大会」のご案内
- 社会医学系専門医制度 講習会情報
- 専門医・指導医の活動紹介
- 2026年 年間スケジュール（案）
- 事務局からのお知らせ
- 編集後記

## 社会医学系専門医の社会的価値のさらなる拡充へ

一般社団法人 社会医学系専門医協会 理事長 今中 雄一



我が国は、少子高齢化の進展、医療資源の地域偏在、新興・再興感染症への対応、さらには大規模災害の頻発など、複雑かつ多層的な健康課題に直面しています。これらに対しては、個人のみならず集団、社会全体を対象とした科学的かつ実践的なアプローチが不可欠であり、社会医学系専門医の役割はますます重要となっています。

さらに、AI/DXの進展、データ利活用の高度化、健康格差の是正、働き方や生活の変化に伴う新たな健康リスクへの対応、持続可能な医療・保健・福祉システムの構築など、社会医学の射程はさらに広がっています。こうした課題に対して、専門医には、科学的知見の創出や対応策の開発、それらを社会実装へとつなげる実践力とリーダーシップが求められています。

本協会はこれまで、社会医学系専門医制度の確立と質の担保を通じて、科学的根拠に基づく保健・医療の実践や政策形成など社会医学的な専門領域を担う人材の育成の基盤づくりに取り組んでまいりました。当専門医が厚生労働省三師統計の届出票に明示され、また、社会医学の教授の資格要件にリストされ出したことも当制度の前進の表れです。

今後さらに、当専門医が様々な制度の中に具体的に位置づけられ、その専門性が十分に発揮される環境の整備が求められます。例えば、保健や医療に係る責任者等の要件、健康

増進計画や地域医療構想をはじめとする各種行政計画に関する審議会・委員会に委員として含めることの要件化などの位置づけを通じて、専門医の知見が社会制度の進展に活かされることが期待されます。

ぜひ、今後に向けてのご意見やご提案を当協会までお寄せいただきたく存じます。

本協会は、専攻医・専門医・指導医の皆様の実践・経験と意見・創意を制度の改善に反映し、専門医制度のさらなる質の向上と社会的価値の可視化に努めていく必要があります。

今後とも、皆様の社会医学系専門医の本領を発揮していただくとともに、社会医学系専門医制度の発展にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 第 36 回日本疫学会学術総会における社会医学系専門医制度共通講習の実施報告

### 第 36 回日本疫学会学術総会

会長 金子 聡

(長崎大学熱帯医学研究所)

第 36 回日本疫学会学術総会は、2026 年 1 月 28 日から 30 日までの 3 日間、長崎市の出島メッセ長崎において開催されました。本大会は、第 3 回国際疫学会西太平洋地域 (IEA-WPR) 学術集会との合同開催であり、プレセミナーを含め約 1,500 名が参加し、海外からの参加者も多数迎える国際色豊かな大会となりました。

本大会では、プログラムのうち社会医学系専門医制度の教育内容に該当するセッションを共通講習に指定し、単位取得の機会を設けました。「感染対策」のカテゴリーでは、世界保健機関 (WHO) 健康危機管理プログラム・エグゼクティブディレクターの Chikwe Ihekweazu 氏による将来のパンデミックへの備えに関する特別講演のほか、次なるパンデミックへの疫学的備えをテーマとしたシンポジウム、および日本・韓国・台湾の 3 か国合同による「感染症とがん」シンポジウムの計 3 セッションを共通講習といたしました。

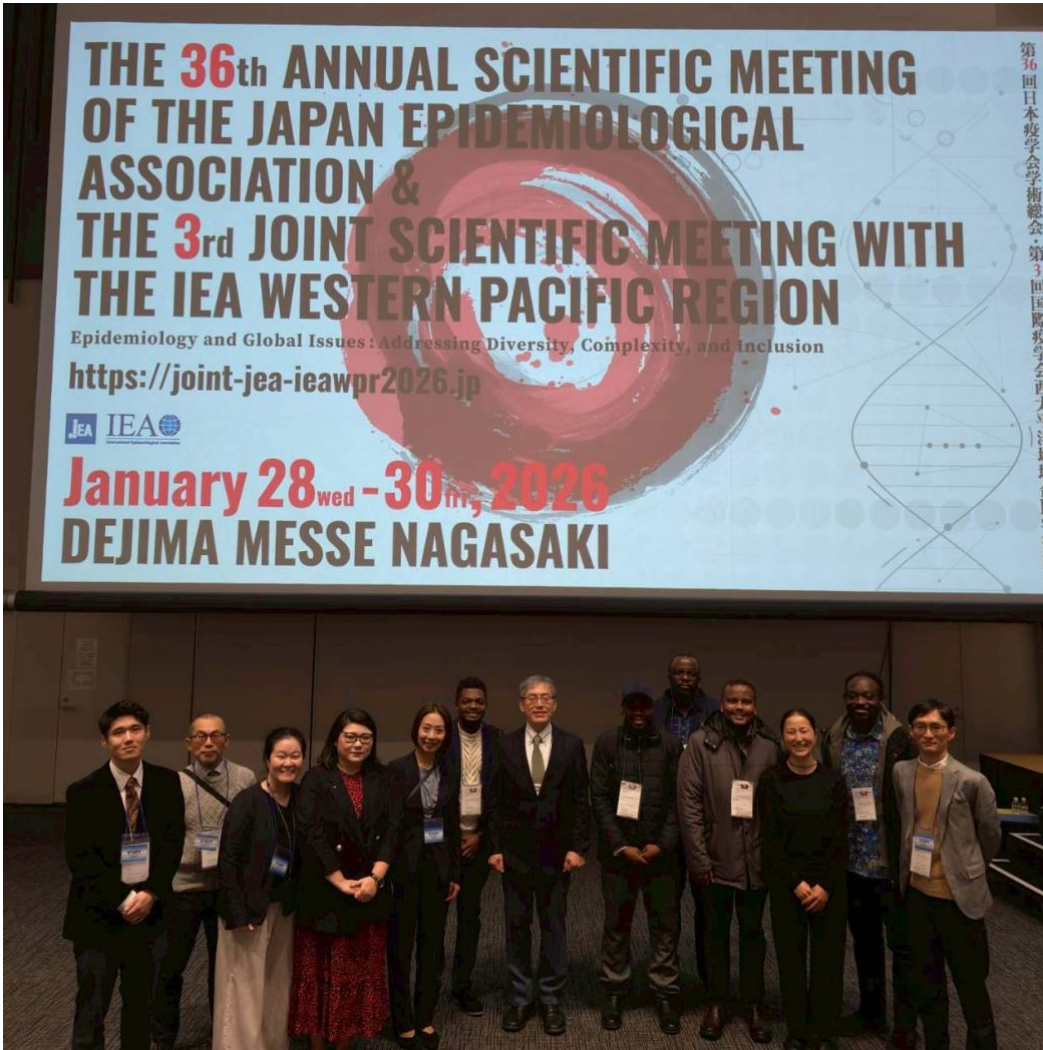
また、「医療経済」のカテゴリーでは、デジタル技術と人工知能 (AI) が疫学研究および疾病予防に与える影響を題材としたシンポジウムを、「地域医療」のカテゴリーでは島嶼地域における疫学研究や医療アクセスの課題を取り上げたシンポジウムを、それぞれ共通講習として実施いたしました。

社会医学系専門医協会・指導医講習会については独立した枠組みで企画し、愛媛大学大学院医学系研究科の三宅吉博教授を講師にお招きしました。講習では、本制度の概要や指導医の役割、研修体制などについて詳細なご講義をいただき、多大なるご協力を賜りました。

さらに、被爆 80 年の節目に長崎で開催された意義を鑑み、「広島・長崎における原爆放射線疫学の 80 年」をテーマとした特別シンポジウムを執り行いました。これにより、疫学研究の社会的意義を改めて共有する貴重な機会となりました。

このように、本学術総会において、社会医学系専門医制度の共通講習ならびに指導医講習会を無事に実施することができました。これらの取り組みが、貴協会の専門医制度における教育活動の一環として、一定の役割を果たすことができたのであれば幸いです。

最後になりますが、本講習会の開催にあたり多大なるご協力を賜りました貴協会および関係各位に深く感謝申し上げます。



<開催案内>

## 第30回日本医療情報学会春季学術大会

ホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/sanei99/>

第30回日本医療情報学会春季学術大会は、2026年6月11日から13日まで、栃木県のライトキューブ宇都宮にて「医療情報学の新たなる道程～革新と共創の時代へ～」をテーマに開催されます。生成AIの台頭や医療DXの進展といった技術革新を背景に、これまでの歩みを尊重しつつ新時代の医療情報学を再構築する重要な転換点を目指します。医療情報技師や企業関係者を含む多様な参加者が知見を共有し、活発な議論を通じて他分野と共に未来を切り拓く、革新と共創の場となればと考えております。



**第30回  
日本医療情報学会  
春季学術大会**  
シンポジウム 2026 宇都宮

**医療情報学の新たなる道程  
～革新と共創の時代へ～**

30th JAMI 2026 Utsunomiya

2026 6/11 (木) 13 (土)  
演題募集期間 2025 11/17 ▶ 2026 1/5

大会 HP [jami2026symp.org](http://jami2026symp.org)

現地会場 ライトキューブ宇都宮  
Web開催

大会長 **今井 健** 東京大学 大学院医学系研究科 医学生命工学センター  
プログラム委員長 **河添悦昌** 東京大学 大学院医学系研究科 医療情報学分野  
実行委員長 **荻島創一** 医学情報学研究所 企業情報連携部  
東北大学 医務研究機構  
東北大学医療創成センター  
東北メディカル・メガバンク機構

大会事務局  
東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 ゲノム医学情報学分野内  
〒980-8573 仙台市青葉区星陵町 2-1  
Email: [jami2026symp@grp.tohoku.ac.jp](mailto:jami2026symp@grp.tohoku.ac.jp)

運営事務局  
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部  
コンベンション第二事業部  
〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 12 階

JAMI Japan Association for Medical Informatics

## <社会医学系専門医制度 講習会情報>

社会医学系専門医に関する説明会や講習会の予定をご案内いたします。お申し込み等の詳細につきましては、下記ホームページをご参照ください。

一般社団法人 社会医学系専門医協会 HP <http://shakai-senmon-i.umin.jp/seminar/>

### 開催予定の講習会

(スパムメール防止のため、(at) を@マークにしてください。)

【2026年6月】

学 会 名	第 65 回総会日本消化器がん検診学会
タ イ ト ル	教育講演 5 社会医学セミナー 臨床研究の倫理とルールーその研究、本当に大丈夫ですか？
日 時	2026年6月27日(土) 11:30~12:30
場 所	横浜パシフィコ予定 会議センター
問合せ先	yabe(at)jsgcs.or.jp
単 位 数	共通講習【医療倫理】 K-1 単位

学 会 名	全国衛生部長会
タ イ ト ル	社会医学系専門医協会共通(必須)講習会【医療安全】日本における医療安全施策の動向
日 時	2026年6月10日(水) 15:30~16:30
場 所	ステーションコンファレンス東京
問合せ先	Buchokai(at)jpha.or.jp
単 位 数	共通講習【医療安全】 K-1 単位



【2026年5月】

学 会 名	日本産業衛生学会
タ イ ト ル	社会医学系専門医協会 指導医講習会
日 時	2026年5月29日（金）17:00～18:00
場 所	大阪国際会議場
問合せ先	第99回日本産業衛生学会 運営事務局 sanei99(at)jtbc.com.co.jp
単 位 数	指導医講習 1単位

学 会 名	第99回日本産業衛生学会
タ イ ト ル	第99回日本産業衛生学会 社会医学系専門医必修プログラム 人を対象とした研究の倫理
日 時	2026年5月27日（水）11:50～12:50
場 所	大阪国際会議場
問合せ先	sanei99(at)jtbc.com.co.jp
単 位 数	共通講習【医療倫理（臨床倫理、研究倫理、生命倫理）】 K-1単位

学 会 名	第99回日本産業衛生学会
タ イ ト ル	第99回日本産業衛生学会 社会医学系専門医必修プログラム 事故ゼロの医療を目指すのは幻想か？：医療安全の20年余が語る“現実と未来”
日 時	2026年5月27日（水）9:30～10:30
場 所	大阪国際会議場
問合せ先	sanei99(at)jtbc.com.co.jp
単 位 数	共通講習【医療安全】 K-1単位

学 会 名	第 99 回日本産業衛生学会
タ イ ト ル	第 99 回日本産業衛生学会 社会医学系専門医必修プログラム 医療関連感染対策
日 時	2026 年 5 月 27 日 (水) 10:40~11:40
場 所	大阪国際会議場
問合せ先	sanei99(at)jtbc.com.co.jp
単 位 数	共通講習【感染対策】K-1 単位

## < 専門医・指導医の活動紹介 >

### 社会医学系専門医の実践紹介

#### — 現場からの声 —

社会医学系専門医は、医療機関、保健所、行政機関、企業、大学など、多様な現場でそれぞれの専門性を発揮しながら活動しています。本制度は、こうした多様な実践を横断的に評価し、社会に還元していくことを目的としています。本号では、その一端をご紹介します。

#### ● 保健所における健康危機管理の実践

自治体の保健所においては、地域保健行政の中核を担う立場として、公衆衛生施策の企画・実行・評価を一体的に担っています。保健所長をはじめとする管理職として、日常の保健事業運営から健康危機管理、関係機関との調整まで、多岐にわたる業務に従事しています。

平時においては、感染症対策、母子保健、精神保健、難病・障害保健、生活習慣病対策など、地域課題に応じた保健事業を統括し、疫学データや地域診断を踏まえた施策立案を行っています。医療機関、市町村、福祉部門等との連携を通じて、地域全体の保健医療体制の質向上を図る役割も重要です。

一方、健康危機発生時には、地域の指揮調整役として、感染症流行時の対策本部運営、積極的疫学調査、入院調整、住民対応、情報発信などを統括し、行政と医療現場をつなぐハブとして機能しています。近年は新興・再興感染症対応だけでなく、自然災害時の保健医療活動調整や避難所の health needs assessment においても専門性が発揮されています。

また、全国保健所長会という全国組織を通じ、国への政策提言、ガイドライン策定への意見反映、他自治体との情報共有や好事例の横展開にも関与しています。これらの活動は、地域現場で蓄積された知見を制度や政策へと還元するものであり、社会医学系専門医の専門性が社会に活かされる代表的な場面の一つです。

保健所の社会医学系専門医の活動は、日常業務から危機対応、政策形成に至るまで、社会医学の実践そのものであり、本専門医制度が想定する中核的な活躍領域といえます。

### ● 自治体本庁における保健医療施策の企画立案

自治体本庁で勤務する社会医学系専門医は、地域医療計画や健康増進計画等の策定に関与し、地域の健康課題や医療資源を俯瞰した保健医療施策の企画立案に従事しています。疫学データ等を基に施策の立案や評価を行うとともに、庁内関係部局、医療関係者、外部有識者との調整を担い、科学的根拠に基づく政策形成を支えています。

地域医療構想や医療機関間連携に関わる部門で勤務する社会医学系専門医は、地域全体の医療需要と資源配置を踏まえ、医療機関や行政との調整役として活動しています。急性期・回復期・在宅医療等の役割分担を見据え、関係者間の合意形成を図りながら、持続可能な医療提供体制づくりに貢献しています。

### ● 医療機関における医療安全・質改善の推進

医療機関に所属する社会医学系専門医は、医療安全管理や院内感染対策、診療の質改善などに従事しています。インシデント・アクシデント事例や診療データを分析し、委員会活動等を通じて組織的な改善策を検討・実行しています。現場の課題を構造的に捉え、再発防止や医療の質向上につなげる役割を担っています。

### ● 企業における産業保健の推進

企業で産業医として活動する社会医学系専門医は、従業員の健康管理に加え、メンタルヘルス対策や長時間労働対策、健康経営の推進などに従事しています。職場環境や健康データを踏まえた専門的助言を行い、働きやすい環境づくりや組織全体のウェルビーイング向上に寄与しています。

### ● 大学・研究機関での社会医学研究

大学や研究機関に所属する社会医学系専門医は、疫学・公衆衛生分野の研究者として、地域や集団の健康課題を科学的に明らかにする研究に従事しています。得られた知見を政策提言や実装研究につなげるなど、研究成果を社会に還元する活動を行っており、実務と研究をつなぐ役割を果たしています。

### ● 政策立案支援・審議会等での専門的貢献

国や自治体の審議会・検討会等に参画する社会医学系専門医は、社会医学の視点から専門的助言を行い、制度設計や政策判断を支えています。現場経験と科学的知見を併せ持つ立場からの意見は、政策の実効性や合意形成の質の向上に貢献しています。

## ● 医療・保健 DX およびデータ利活用の実践

医療・保健分野の DX やデータ利活用に関わる社会医学系専門医は、データ分析基盤の整備や EBPM の推進に従事しています。医療現場、行政、研究分野をつなぐ役割を担い、データに基づく意思決定を支えることで、保健医療施策の高度化に寄与しています。

## ● 災害医療・健康支援に関する取り組み

自然災害等の発生時において、社会医学系専門医は被災地域の健康課題の把握や保健医療支援体制の調整に関与しています。平時の備えから急性期、復興期に至るまで、関係機関と連携しながら、地域住民の健康を守る役割を担っています。

## ● 国際保健・グローバルヘルス分野での活動

国際機関や海外プロジェクトに関与する社会医学系専門医は、感染症対策や保健医療体制の強化に従事しています。国内で培った社会医学の知見を国際的な課題解決に活かし、国境を越えた公衆衛生の向上に貢献しています。

## <2026 年 年間スケジュール (案) >

2026 年 協会関連スケジュール (予定)

- 1 月 研修プログラム統括責任者連絡会議 (その 1)
- 1 月 専門医・指導医認定委員会
- 2 月 研修プログラム統括責任者連絡会議 (その 2)
- 4 月 第 8 回専門医認定試験実施要項の公表
- 4 月～5 月 名誉社会医学系専門医・指導医の推薦の受付
- 4 月～11 月 特例措置社会医学系専門医・指導医の募集
- 7 月 専門医・指導医更新案内の発送
- 9 月 第 8 回専門医認定試験
- 10 月 更新申請受付開始
- 11 月 更新申請締切

※詳細は決定次第、協会 HP にてご案内いたします。

## <社会医学系専門医協会事務局からのお知らせ>

### 【専門医・指導医更新のご提出いただきありがとうございました】

2025 年 11 月 30 日をもって、本年度の更新申請の受付を終了いたしました。

本年度更新申請対象者で更新申請をいただいていない場合、

当会 HP にて更新延長届をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、ご提出をお願いいたします。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/koushin/>

### 【登録情報の変更、請求書再送、領収書発行のご依頼について】

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、会員マイページよりご変更ください。

下記 URL 上部 「会員マイページログイン」 のバナーより会員専用ページにアクセスいただくことが可能です。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/>

会員専用ページへのログインにはログイン ID (会員番号) /パスワードが必要となります。

パスワードがご不明な場合は、「パスワード問い合わせ」からお問合せください。

ログイン ID (会員番号) は、年間登録料の請求書摘要欄に記載がございます。

上記ご不明な場合は、下記の要領にて協会事務局 (jbphsm@asas-mail.jp) までご連絡ください。

件名：社会医学系専門医協会：ログイン ID 照会 (会員ページログインのため)

①氏名

②ご所属先

③生年月日 (19XX/●●/△△)

年間登録料領収書の発行をご希望の際は下記記載事項をご記載の上、ご自身にてご作成の上、「切手貼付の返信用封筒」を同封の上、事務局までお送りください。

押印の上、ご返送いたします。

### 【記載事項】

- ・ 会員様のお名前
- ・ 会員番号

- ・お支払いいただいた金額
- ・何年度分の年会費

※年間登録料につきましては不課税となっております。

※請求書：お送りしております払込票付請求書とは別の請求書（所定のもの、口座記載のもの、公印押印済のもの等）が必要な場合は上記内容をご記載の上、ご依頼ください。

【変更届送付先・請求書、領収書発行依頼先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail : [jbphsm@asas-mail.jp](mailto:jbphsm@asas-mail.jp)

FAX : 03-5981-6012

## <編集後記>

令和8年度診療報酬改定は、わが国の医療が「広く薄く支える時代」から、「機能を見極め、資源を集約して支える時代」へ、さらに一歩進んだことを示しているように思います。選択と集中、そして医療機関と医師の集約は、もはや個別の論点ではなく、制度全体を貫く大きな方向性としてより鮮明になっています。

こうした時代においては、単なる診断・治療の知識や技術だけでは、十分な価値を生み出しにくくなります。医療を社会の中で捉え、制度設計、地域資源の再配置、人材育成、組織の持続可能性まで視野に入れて考える力が、これまで以上に問われています。その意味で、社会医学の役割はますます大きくなっています。

本協会としても、この変化を受け身で眺めるのではなく、現場と制度をつなぎ、未来の医療のあり方を考える場として、引き続き価値を出していきたいと考えています。このニュースレターもその目的に沿い、少しでも役に立てればと思います。

（業務執行理事 吉村健佑）